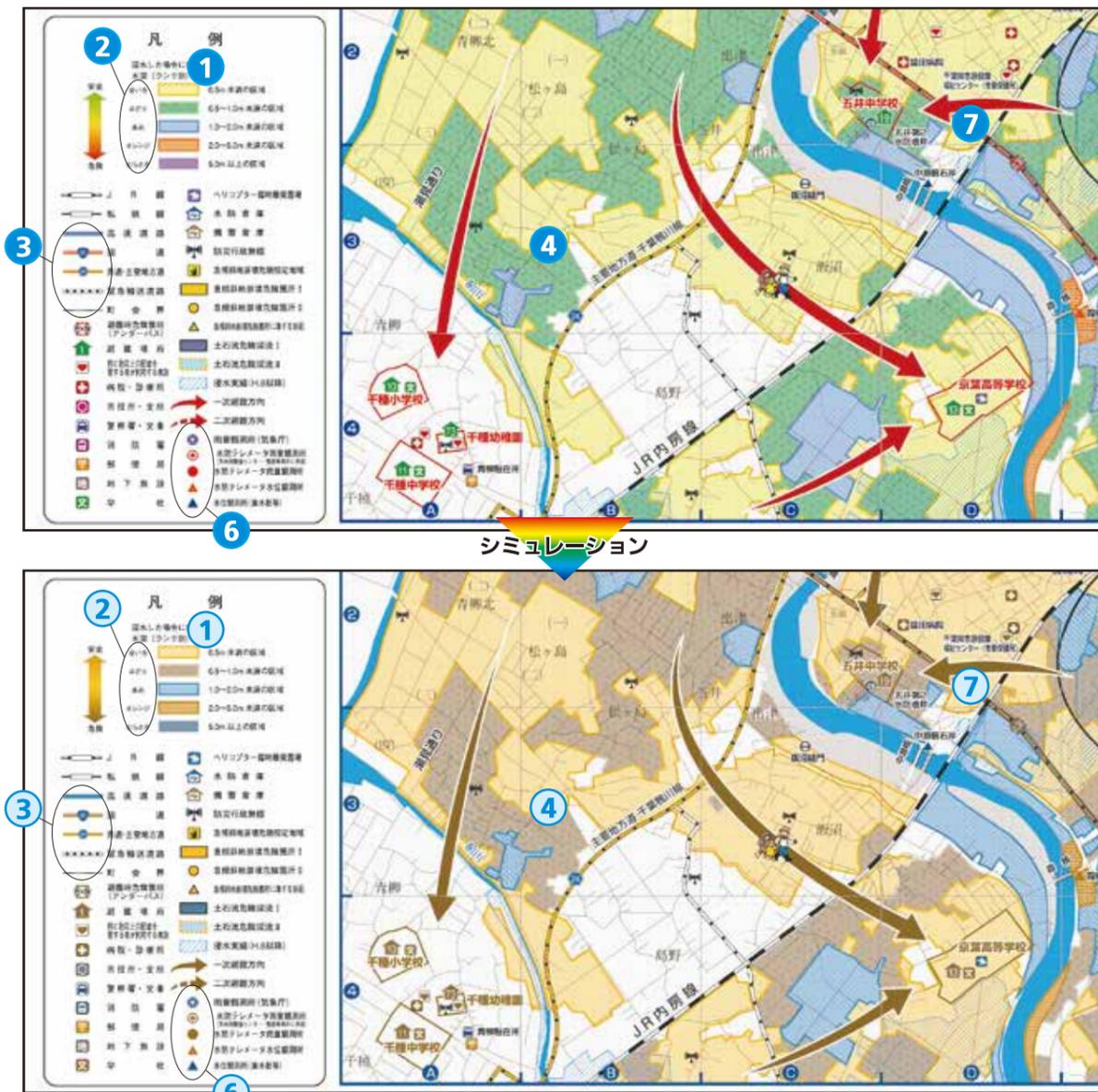


メディア・ユニバーサルデザイン例 (ハザードマップ)



シミュレーション

「メディア・ユニバーサルデザイン」

工夫と技術の組み合わせにより
見やすく、分かりやすくすることです。

1. 識別しやすい色の組み合わせをする。
2. 色の分類だけでなく色名や文字、記号を併記する。
3. 線の太さや点線などにより判読を容易にする。
4. 色が接する場合、色の明度差をつける。
5. グラフなどの表示には引き出し線を用いる。
6. 種別で形を変える。
7. 色が交差する場所ではセパレーションカラーで表現する。

※本パンフレットのシミュレーションは様々な見え方を再現しているもので、色の見え方には個人差があります。
 ※本パンフレットは株式会社イワタの「UD フォント」を使用しています。
 ※さらに詳しい理論や技法につきましては、ガイドライン・ガイドブックを有償頒布していますので、全日本印刷工業組合連合会 (TEL.03-3552-4571) までお問い合わせください。

ガイドライン・ガイドブックに関するお問い合わせ先
 全日本印刷工業組合連合会
 〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館 4F TEL.03-3552-4571(代) FAX.03-3552-7727

メディア・ユニバーサルデザインの考え方で作られています。



2017 第8回 メディア・ユニバーサルデザイン コンペティション

MUDグランプリ

MUD GRAND PRIX 2017

受賞作品集



大阪府印刷工業組合

第8回 MUDグランプリ 受賞作品集の制作にあたり

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、大阪府印刷工業組合の運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
大阪府印刷工業組合 マーケティング委員会では、2017年10月に開催いたしました「第8回メディア・ユニバーサルデザインコンペティションMUDグランプリ審査会」におきまして高い評価を得た作品を「受賞作品集」として冊子にまとめました。

今回は当組合8回目のコンペでありましたが、各方面から一般の部6点、学生の部38点の合計44点のご応募をいただきました。今回もレベルの高い作品が数多く寄せられました。寺井剛敏審査委員長をはじめとする7名の審査委員による厳正なる審査の結果、合計6作品が選出されました。

それぞれの入選作品におけるメディア・ユニバーサルデザインに対する工夫点などご覧いただき、メディア・ユニバーサルデザインの概念をさらに深めていただくためのツールとしてご活用いただければ幸いです。また本コンペティションを通して、高齢者・障がい者・子供・外国人に対して配慮する心を育み、より良い社会を創っていくことにつながれば幸いです。

最後になりましたが、本コンペティションの趣旨にご賛同いただきご後援・ご協力をいただきました皆様、および作品をご応募いただきました企業・個人・学生の皆様、審査会にてご審査いただきました審査委員の皆様にご心より御礼申し上げます。

大阪府印刷工業組合
理事長 作道 孝行

マーケティング委員会
委員長 山本 順也

大阪府印刷工業組合 第8回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション講評 審査委員長 金沢美術工芸大学 視覚デザイン研究室 教授 寺井 剛敏

第8回を迎えた今回の出品数は、昨年を少し上回る44点(学生38点)の応募が集まった。

応募点数は年度ごとに増減しているが、全体のレベルが毎回向上していることは、審査委員一同嬉しく感じている。このコンペティションで入賞した作品が、全日本印刷工業組合連合会主催のコンペティションでも最高賞を受賞するなど、応募された作品のレベルは担保されており、いい意味で新規で応募する際のハードルとなっている可能性が感じられる。

また、第6回に入賞した作品が「避難所設営シールセット」として商品化された。コンペティション後も熊本の被災地にある避難所で、試作品を使用してもらい、現場からの声をもとに利用者目線で刷新させ、商品化されたことはコンペティションを運営する関係者及び審査委員にとっても嬉しいニュースとなった。

今回も学生からの応募点数が多かったが、1次審査でも高い評価を受ける作品も複数あり、全体的なレベルも含め学生の健闘が今年も目立った。今回も防災関連の出品が多く、北朝鮮のミサイルへの危機回避、ヒアリへの対策、海・川について安全への配慮など、世の中に影響を与えた事件などを題材にした提案の応募もあった。

コンペティションも回を重ねるごとに、何をテーマにするか?が出品する側としての悩みになってくると思われる。昨年も伝えたことだが、新しい視点や提案の本質を見極めるには、日頃から俯瞰的にモノを見たり、考えたりすることも重要だが、自らの視点を普通に保つことが重要だと感じている。その普通の中から見つける、新しい発見にまだ提案されていない分野や可能性があると思う、そんな発見に今後も期待したい。

大阪では、地域に限定した「大阪のここがええねん!」というテーマも設定していたが、応募数が昨年に続き今年も少ないこともあり地域性だけでなく、今一度、作品募集について、分野別の募集やテーマ設定など、審査委員の方々と協議し次年度からの応募については改善することを確認した。

最後に、各種学校において演習での取り組みや、企業へのアプローチなど、事前告知に協力してくださった関係者の熱意ある対応に感謝するとともに、次年度へ向けても応募数の増加を、今後も継続して対応していただくようお願いしたい。

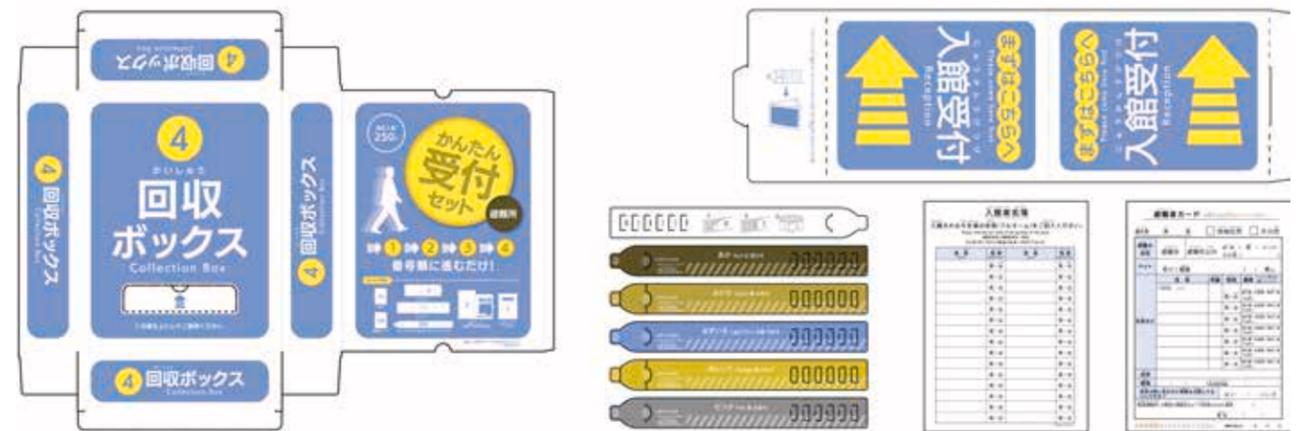
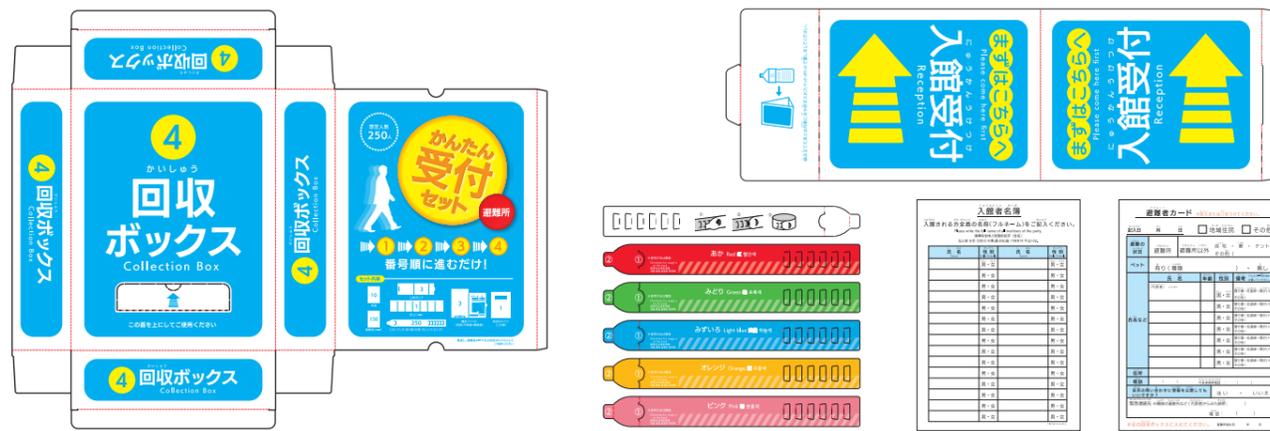
大阪府知事賞 「避難所かんたん受付セット」

大阪シーリング印刷株式会社 坂本 綾香 岡田 智子 山田あゆみ
杉原 啓二 米田友規子 乗松めぐみ
高 平平 田川 晶子 宮武 靖子

オリジナル

【色覚に障がいのある方には、前頁がこのように見えている場合があります】

色覚シミュレーション



工夫点

普段あまり重要視される事はありませんが、実際には様々な役割とそれに伴う多くの問題を抱えた「避難所の受付」に着目しました。避難所で起こる様々な問題を広く解決でき、避難所が少しでも早く安全な場所に入れるための作品作りを目指しています。このセット一つで、受付までの誘導から受付を通り、避難所に入るまでの流れがスムーズに行けるようになっています。従来の避難所の仕組みや使用されている物を精査し、根本的な仕組み作りから考え直してこの作品を作りました。色覚障がいの方、支援が必要な方、外国人など関係なく、全ての人がわかりやすく簡単に受付を通ることができるよう、作った一つ一つのアイテムに色彩や言葉、使いかなど細かい配慮をしています。

講評

避難所の中でも、受付に絞った作品。避難所でのヒアリングや現地調査から、利用者の目線で問題点を見つけ、解決する方法を検討している姿勢が素晴らしい。避難所に受付があることすら知らない現状、ただ入館するためにあるのではなく、入館する際に、入館数、男女数、年齢、国籍などを確認・把握することで、必要な物資の申請や配分など、情報を集約でき、色々なことが整理され避難上の運営がしやすくなるという、当たり前のことだが、緊急時にこそ受付で情報を集約することの大切さを実感させ、並び方まで提案し、受付の時間短縮まで確認していることや日本人だけでなく、外国人への配慮まで検討されている、現場視点を高く評価した。

大阪市長賞 「水の事故防止教室」

大阪市立デザイン教育研究所 安藤 綾音

オリジナル

【色覚に障がいのある方には、前頁がこのように見えている場合があります】

色覚シミュレーション



工夫点

水難事故によって毎年多くの方が被害に遭っています。警察庁によると昨年度の水難者は1742人で、そのうちの約半数は亡くなったり、行方不明になっています。このような社会の状況から、私は未然に水難事故を防止したり、事故にあったときや事故を見つけたときも命を繋げるようにしたいと思いました。そこで、自分の命を守るように、人の命を救えるようになるための教本『水の事故防止教室』を提案します。この作品は教育機関での配布を想定して創っています。工夫点は、小学生のような小さな子どもにもわかりやすく、読みやすくなるようにイラスト・漫画表現を用いて内容を展開した点です。解説文も難しい言葉・表現は避けたり、UDフォントを使用することで、より多くの方が、内容を理解できるように配慮しました。

講評

毎年起こる水の事故について、キャラクター、イラストと文字のメリハリをうまくレイアウトして、読む人の立場にたって工夫されている点を評価した。編集についても、色々工夫されており、なぜ事故は起きるの?から「水へのやくそく」、「ふくそうともちもの」、「あぶないばしょ・あぶないとき(うみ、かわ)」、「もしもじこにあったら」、「もしもじこをみつけたら」、「まとめ」まで、キャラクターを項目ごとに登場させ、共感させることで、押し付けがましくなく、わかりやすく内容が入ってくるように制作されている点を高く評価した。

大阪商工会議所会頭賞 「オフィス防災ハンドブック」

(株)一心社 制作部

オリジナル

【色覚に障がいのある方には、前頁がこのように見えている場合があります】

色覚シミュレーション



工夫点

災害の「対処」から「根本理解」へ防災意識のユニバーサル化
近年、防災意識の高まりから、災害発生時の行動を示す携帯ブックなどの制作がさまざまな企業・団体を中心におこなわれています。
多くの場合、災害の対処法に重きをおいており、なぜその「対処」が必要なのかは省略されています。
この「オフィス防災」では、対処から一歩踏み込んだ基本情報の伝達による防災知識の共有（意識のユニバーサル化）の大切さを理解してもらうことを目指しました。

講評

防災への意識が高まる現在、各自治体、企業なども色々検討しているが、なぜその対処が必要なのかが省略されている点に注目し、対処から一歩踏み込んだ提案になっている点を評価した。オープンデータを活用し、災害へのリアルな対処法の検討や、各コンテンツから、ピクトグラムを活用することでわかりやすく工夫され、ハンドブックとしての完成度も高く、そのまま使用できるレベルまで踏み込んでおり、今後の商品化などは是非検討していただきたい。

大阪府印刷工業組合賞 「遊びながら学ぶ!テーブルマナーかるた」

大阪シーリング印刷株式会社 白川 舞 河澄香奈子 勝山 優行
富田美奈子 佐藤 由実 佐野 雪穂
宮西 麻紀 池田 恒

オリジナル

【色覚に障がいのある方には、前頁がこのように見えている場合があります】

色覚シミュレーション



工夫点

親と子どもが遊びながら、楽しくテーブルマナーを学べるかるたです。マナーの解説が記載されているので、子どもがテーブルマナーを覚えやすく、親自身もより理解を深めながらマナー教育を行えます。難易度の違う2種類のかるたで、子どもの年齢や学習内容に応じて段階別に遊ぶことが可能です。ローマ字のルビや英訳も記載しているので、外国のお友達とも一緒に遊べます。誰にでも見やすい色・分かりやすいイラストを使用。収納には簡単に取り出せて片付けしやすい形状のパッケージで作成しました。

講評

日常生活の中から見つけた、食事のテーブルマナーについて学べるかるた。お家用と外食用の2種類が用意されており、クイズ形式で楽しみながら学べるようにイラストでわかりやすく表現している点が評価された。イラストでは、持ち方や挨拶など、言葉ではなくイラストで表現することで、小さい子どもでもポーズを真似るなど、親子のコミュニケーションが生まれる可能性も感じられ、乗り物編などかるたのバリエーションも検討している点も合わせて評価した。

審査員特別賞 「手紙の書き方book」

大阪市立デザイン教育研究所 木村 佳苑

受賞
作品

オリジナル



色覚シミュレーション 【色覚に障がいのある方には、このように見えている場合があります】



工夫点

最後に手紙を書いたのはいつですか。最近では機械で文字を打つことがほとんどで、大人でも手紙の書き方を知らない人が多くいます。そこで、手紙の書き方のルールをコンパクトにまとめた「手紙の書き方book」を作りました。横書きの手紙と縦書きの手紙ではルールが多少異なるため、2種類製作しました。レターセットに同封することを想定して、折った状態で洋型2号サイズ(114×162mm)になるよう設計しました。山櫻のUD封筒とコラボできたらいいなと密かに考えています。視覚障害者にも見やすい配色を使い、フォントには小さい字でも読みやすいUDフォントを使用しました。

講評

SNS、メールなどに慣れた現在、手紙を書く人が減っている現状をふまえて、あえて手書きの手紙を書きませんか?と問いかける提案。いざ、手書きで手紙を書くと、書き始めは何かから書いたらいいの、失礼にならないようにするにはなど、それが面倒になり、メールで簡単にすませることが多いように思う、そんな面倒な部分を丁寧に解説してくれるガイドがあり、全文、主文、末文、季節の表現など、忘れていた思いやりの気持ちを思い出させてくれる、久しぶりに手紙を書いてみようと思わせる作品となっている。

受賞
作品

審査員特別賞 「メディアユニバーサルデザイン緊急避難標識」

パンタンデザイン研究所 キャリアカレッジ大阪校 船崎 康平

オリジナル



色覚シミュレーション 【色覚に障がいのある方には、このように見えている場合があります】



工夫点

現在の日本で必要だと思うものを意識して作成しました。
工夫点
・ユニバーサルデザイン仕様のフォント
・配色による見にくさを防ぐためにモノトーンを採用
・情報をシンプルにまとめる

講評

北朝鮮のミサイル発射など、最近の脅威をテーマにした緊急事態における標識の提案。シンプルな表現の中にQRコードを入れることで、詳細情報はスマホなどで入手させるなど、情報を整理している点も評価した。また、デジタルサイネージは、緊急時のみ表示されるなど平常時と緊急時のメリハリがより緊急性を感じさせ、シンプルな矢印で避難する方向を誘導する画面が斬新な印象を受けた。

MUD審査風景・表彰式風景

審査：平成29年10月21日（土）大阪印刷会館 会議室にて
 表彰式：平成29年11月21日（火）太閤園にて

審査風景



表彰式風景



山本順也委員長 挨拶



作道孝行理事長 挨拶



浦久保康裕/MUD協会理事長 講評



大阪府知事賞
 大阪シーリング印刷株式会社
 坂本 綾香・岡田 智子・山田あゆみ
 杉原 啓三・柴田友規子・栗松めぐみ
 高 平平・田川 晶子・宮武 靖子



大阪市長賞
 大阪市立デザイン教育研究所
 安藤 綾音



大阪商工会議所会頭賞
 株式会社 制作部



大阪府印刷工業組合賞
 大阪シーリング印刷株式会社
 白川 舞・河澄香奈子・勝山 優行
 富田美奈子・佐藤 由美・佐野 雪穂
 宮西 麻紀・池田 恒



審査員特別賞
 大阪市立デザイン教育研究所
 木村 佳苑
 パンタデザイン研究所 キャリアカレッジ大阪校
 船崎 康平

(敬称略)

2017 第8回 大阪府印刷工業組合 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション MUDグランプリ 受賞作品集

発行 2018年2月23日

著書 大阪府印刷工業組合・マーケティング委員会

発行所 大阪府印刷工業組合

〒534-0027 大阪市都島区中野町4-4-2 大阪印刷会館内

TEL. 06-6353-3035 FAX. 06-6352-2360

URL. <http://www.osaka-pia.or.jp/>

メールアドレス info@osaka-pia.or.jp

- ・本書内容の無断掲載・転載および不正使用は固くお断りいたします。
- ・本書によって発生した問題・トラブルに対してはいかなる場合においても一切の責任を負いかねます。